

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

当科で施行した中心静脈カテーテル挿入についての電子カルテデータを用いた探索的臨床試験

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部外科学系小児外科学分野（附属板橋病院小児外科）・助手(医員) 研究責任者 星 玲奈

＜研究期間＞

承認日 ～ 令和 10（西暦 2028）年 12月 31日

＜対象となる方＞

西暦 2019年1月1日～西暦 2023年12月31日の期間に小児外科で中心静脈カテーテルを挿入された方

＜研究の目的＞

当科では、中心静脈栄養(高カロリー輸液)や化学療法など必要とする小児に対して、皮下トンネル作成型中心静脈カテーテルや中心静脈ポート、末梢挿入型中心静脈カテーテルを含む様々な種類の中心静脈カテーテルを、穿刺法や静脈切開法を用いて挿入しています。今回、これまでに当科で施行した中心静脈カテーテル挿入について、疾患やカテーテル挿入法、カテーテルの種類などによる効果や安全性を検討することにより、今後の中心静脈カテーテル挿入をより効果的かつ安全なものとするため、本研究を計画しました。

＜研究の方法＞

電子カルテから、年齢や疾患、カテーテル挿入法、挿入したカテーテルの種類、治療完遂率、合併症発生率などの診療情報を抽出し、当科で施行した中心静脈カテーテル挿入について、疾患やカテーテル挿入法、カテーテルの種類などによる効果や安全性を後方視的に検討します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

電子カルテ上の診療記録から年齢、性別、疾患、患者あたりのカテーテル挿入回数、カテーテル挿入日数、カテーテルの種類、カテーテル挿入法、挿入血管、合併症発生率などの情報を抽出し、使用します。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

小児外科 氏名：山岡 敏

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2452 (PHS) 8168

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方